

令和2年6月25日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和2年6月25日(木) 午後3時00分～午後3時40分
- 2 場 所 10階 委員会開催室
- 3 出席委員 荒澤賢雄教育長、無着道子委員、白鳥樹一郎委員、中村篤委員
熊坂香織委員
- 4 出席者 伊藤尚之教育部長、奥山泰子管理課長、伊藤利彦管理課施設整備室長、
田中克学校教育課長、新關昭弘社会教育青少年課長、
大山敬弘スポーツ保健課長、小関仁美少年自然の家所長、
横倉明史図書館長、増川悦裕学校給食センター所長、
浅川かおり学校給食センター栄養管理室長
浅井幹太商業高等学校事務長、事務局（管理課職員）

会議次第

- 1 開 会
- 2 前回会議録承認
- 3 議 案
 - 議案第30号 市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について
1 令和2年度教育費6月追加補正予算について
 - 議案第31号 山形市少年自然の家運営協議会委員の委嘱について
 - 専承第 3号 専決処分の承認について（山形市教育委員会職員の人事について）
 - 専承第 4号 専決処分の承認について（山形市教育委員会事務局組織規則の一部改正について）
- 4 報告事項
 - (1) 学力向上支援事業について
- 5 そ の 他
- 6 日 程 等
 - (1) 教育委員会の日程について
 - (2) 教育委員会主催（共催）の行事予定について
- 7 閉 会

会議録

1 開 会 教育長

2 前回会議録承認

3 議 案

教育長…本日の議事に入る前に、山形市教育委員会会議規則第7条の規定により、会議を公開しない「秘密会」とすることについて、お諮りする。

本日の議案第30号「市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について」は、市議会提案前の議案に関する案件であることから、現時点では公開することが適当でない認め、会議を公開しない「秘密会」としてよろしいか。

(全委員、異議なし。)

教育長…それでは、議案第30号については「秘密会」において審議することとし、その会議録等についても非公開とする。

<以下 非公開>

<非公開解除 以下公開>

教育長…次に議案第31号「山形市少年自然の家運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

<少年自然の家所長より資料に基づき説明>

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…それでは議案第31号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

教育長…次に専承第3号「専決処分承認について（山形市教育委員会職員の人事について）」事務局から説明をお願いします。

<管理課長より資料に基づき説明>

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…それでは専承第3号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

教育長…次に専承第4号「専決処分の承認について（山形市教育委員会事務局組織規則の一部改正について）」事務局から説明をお願いします。

<管理課長より資料に基づき説明>

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか

<各委員より「なし」の声>

教育長…それでは専承第4号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

4 報告事項

教育長…次に報告事項に移る。（1）「学力向上支援事業について」事務局より説明をお願いします。

<学校教育課長より資料に基づき説明>

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか。

委員…この事業の予算財源はどうなっているのか。また、派遣するアシスタント・ティーチャーの勤務時間である週6時間の使い方は、学校に決める権限があるのか。

学校教育課長…この事業については市の単独予算である。勤務時間の決め方は、3時間を週2日、2時間を週3日等、実情に併せて学校と相談して決定している。

委員…アシスタント・ティーチャーの希望者は多いのか。それとも市教育委員会から声掛けをしているのか。

学校教育課長…今年度からの新規事業であったため、今年度については市教育委員会から、退職教員に依頼し、ようやく5月に決まったという状況であった。

委員…これまでの学校訪問を通して複式学級の大変さを理解しているが、複式学級の経験のある退職教員はどのくらいいるのか。今後さらに複式学級が増えることを考え合わせると、複式学級の経験を他の教員に伝えながら、アシスタント・ティーチャーに限らず、学校に出向いて教える教員が必要になるのではないか。

学校教育課長…県内で複式を含む小規模の学校の統廃合が進んでおり、複式学級自体も減っているため、複式学級の経験がある教員が少なくなっている実情がある。複式学級においては、異なる教科の授業を同時に行うことが最も困難であるが、そのような際にアシスタント・ティーチャーは有効である。また、毎年若い小学校の教員が増えている中、アシスタント・ティーチャーを派遣することにより、ベテランの教員がついて学年を分けた指導がその時間可能になることと、忙しい業務のなか若い教員がベテランの教員の経験を学べることが期待できる。

教育長…今後小規模校が増加することが見込まれる。複式学級の学習体制の整備と併せて、ベテラン教員の経験を生かし、この事業を充実させていきたい。

教育長…他に質問・意見等はないか。

<各委員より「なし」の声>

5 その他

教育長…委員よりその他意見・質問等はないか。

<各委員より「なし」の声>

6 日程等

<管理課長から、資料に基づき説明>

7 閉会 教育長